

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

地域支援だより

# きらりNet

平成29年11月17日

第78号

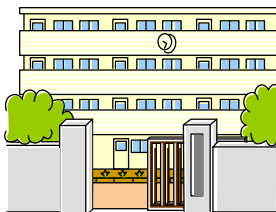
秋田県立秋田きらり支援学校  
地域支援部

## 本校中学部における進路学習の取組を紹介します

### 【事業所・施設見学】

学級の学習活動、もしくは個々の要望に応じて、実施しています。

働いている卒業生の姿を見て、将来の生活をイメージするきっかけにすることを目的としています。



### 【学校見学・教育相談】

志望する高等学校・特別支援学校高等部を見学し、入学にあたっての相談をします。入試に向け、大勢の中で試験を受けることに慣れるために、他校を会場とする実力テストに参加する生徒もいます。模擬面接を行い、受け答えの練習をする生徒もいます。

進路指導主事として、これまでの進路指導を通して感じていることをお伝えします。



### 【働く（仕事をして給料をもらう）ために必要なこととは…】

- ◎身辺自立（着替え、食事、トイレ） 家庭との連携は不可欠です。本校では外部専門家やリハビリ科からの助言も参考にしています。
- ◎公共交通機関の利用 将来の自力通勤を見据えて、真夏、雨天・降雪時にも利用できることが望ましいです。送迎をしてくれる会社はありません。
- ◎コミュニケーション力 好感のもたれる挨拶や返事は基本中の基本です。また、困っていることや手伝ってほしいことを、遠慮せずに伝えることも大切です。

これらは、小さい頃から意識して取り組むことが大切に思います。社会に出ることが目前に迫った段階で始めようとしてもすぐにできるようにはなりません。



### ★支援する立場として、気を付けたいこと★

「先生や保護者が先回りしてやってあげていませんか？」失敗も大切です。生徒自身が、原因に気づき、失敗しないための方策を考え、工夫していく。その際支援する側は、見守る、もしくはタイミングを見計らった的確なアドバイスができるといいですね。

〈文責：宮野佳代子〉

# キラりの実践 中学部 進路学習 その⑤

教科を主とした学習グループ  
(中学部 1～3年) の実践  
キーワード：自己理解

総合的な学習の時間に、1～3年生7名(H29, 11月現在)が、合同で進路学習を行っています。  
主な学習内容は、進路(高校や本校高等部、大学、就職)について調べる、話し合うことです。また、自立へ向けた取組(一人でできる調理)なども実施しています。

## 1. 進路先の見学

普通高校への進学を希望する生徒は、希望高校の見学を行っています。見学の視点として、「公共交通機関を利用して通うことができるか」「校内の移動は無理なくできるか」などを挙げ、それについて生徒本人が考えることを大切にしています。

それと同時に、見学先の高校に、学校生活で困難が生じた場合どのような協力をしてもらえるかを問い掛けるようにしています。



## 2. 一人でできるための調理実習の工夫

調理の手順だけでなく、道具を持つ、置くなどの動作で自分ができること、難しいことを確認し、どこまで一人でできるか、何があれば一人でできるかを考える機会を作ります。

例：ポットからカップ麺にお湯を注ぐ時に、左手でカップ麺を持ち続けることが難しい場合には、カップを高くする工夫をして一人でできることを実感します。



## 教育専門監のコーナー

「人間の幸せは、ものやお金ではありません。人間の究極の幸せは次の四つです。人に愛されること、人にほめられること、人の役に立つこと、そして、人から必要とされること。愛されること以外の三つの幸せは、働くことによって得られます。障害をもつ人たちが働こうとするのは、本当の幸せを求める人間の証なのです。」

日本理化学工業株式会社  
代表取締役社長 大山隆久「利他のすすめ」より

日本理化学工業株式会社は、それぞれの理解力や能力に合わせて作業工程を工夫することで、多くの知的障害の方を雇用しています。



生徒にとって最も身近な社会である学校。生徒は様々な「学び」の中で、役割を担い、責任を果たしながら、自分の気持ちを表し、人間関係を築いていきます。周囲から必要とされ、役に立てることに喜びを感じながら、学校という社会の自分が担う立場や役割の中で、必要な情報を読み取り、先を見通して行動する力を備えていきます。

中学部の進路学習の実践は、自らが担う様々な立場や役割を踏まえ、他者と協力・協働しながら、主体的に社会参加を果たしていく力の獲得を目指して行われています。生徒は、体験的な「学び」の中で、他者の多様な考えや生き方にふれ、自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」を学校生活に見だし、「自分らしく生きていく力」を身に付けていきます。

〈文責：二階堂 悟〉

## 秋田県病弱教育研修会のお知らせ

日時：平成30年1月9日(火) 10:00～14:30

場所：秋田きらり支援学校 詳しくはHPで！

事例発表1 県内病弱・身体虚弱特別支援学級の実践

事例発表2 青森県院内学級の実践

講演講師 宮城教育大学大学院教育学研究科

村上由則 教授

秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記まで御連絡ください。



教頭 伊藤 敏博 地域支援部 佐藤 忠浩

住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3番127

E-mail: kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018(889)8573 FAX：018(889)8575

「きらりNet」は本校ホームページから閲覧することができます。

<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>